

記 者 発 表 (発 表 ・ 資 料 配 布)				
月／日 (曜)	担当課 (室) 班 名	電話番号 (直通)	発表者名 (担当者名)	発表 その他の 先 配布
6／23 (木)	高校教育課 高校教育改革班	内線 5840 (078-362-3817)	清瀬 欣之 (大角 謙二)	

平成 28 年度 通学区域の状況について

生徒・保護者にとって高校の選択肢を確保するとともに、高校の魅力・特色づくりを一層推進させるため、平成 27 年度から通学区域を 16 学区から 5 学区に再編し、複数志願選抜を全県に導入した。

この度、昨年度に引き続き平成 28 年度複数志願選抜における志願及び合格状況等を分析するとともに、すべての全日制高校の新入生、複数志願選抜実施校の新入生保護者及び県内の全市町組合立中学校長を対象として実施したアンケート結果をとりまとめた。

- ◇「新通学区域実施に関するアンケート（高校新入生用）」（平成 28 年 5 月実施）
対 象：県内の公立全日制高等学校の新入生全員 回答数：32,924 人、回収率：96.5%
- ◇「新通学区域実施に関するアンケート（新入生保護者用）」（平成 28 年 5 月実施）
対 象：複数志願選抜実施校の新入生保護者（各校 40 人）回答数：4,107 人、回収率：90.1%
- ◇「新通学区域実施に関するアンケート（中学校用）」（平成 28 年 5 月実施）
対 象：県内の全市町組合立中学校長 回答数：343 校、回収率：100%

I 複数志願選抜の志願状況

1 全体の状況

○ 高校所在地別受検者数及び合格者数とその割合（複数志願選抜）

高校の所在地	学力検査 募集定員	受検者数及び 合格者数		旧学区外からの受検者数及び合格者数とその割合			
				H28		H27	
第1学区	5,387	受検者	6,124	926	15.1%	730	11.9%
		合格者	5,378	738	13.7%	598	10.9%
第2学区	7,220	受検者	7,965	1,295	16.3%	1,095	13.6%
		合格者	7,220	1,083	15.0%	926	12.8%
第3学区	4,861	受検者	5,193	701	13.5%	752	14.1%
		合格者	4,842	631	13.0%	651	13.2%
第4学区	3,561	受検者	3,832	398	10.4%	344	9.2%
		合格者	3,541	340	9.6%	313	8.8%
第5学区	852	受検者	823	34	4.1%	25	3.1%
		合格者	817	33	4.0%	25	3.1%
全 県	21,881	受検者	23,937	3,354	14.0%	2,946	12.3%
		合格者	21,798	2,825	13.0%	2,513	11.4%

※ 旧学区外からの受検者数は、「(新学区の受検者)－(旧学区及び県外・国立・私学等からの受検者)」の人数を示す。

※ 旧学区外からの合格者数は、「(新学区の合格者)－(旧学区及び県外・国立・私学等からの合格者)」の人数を示す。

※ 受検者数は第1志望の受検者数を示し、合格者数は第1志望もしくは第2志望での合格者数を示す。

- ◆ 平成 28 年度入学者選抜の複数志願選抜においては、23,937 人が受検し 21,798 人が合格した。
- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒は 3,354 人(H27 年度 2,946 人)であり、複数志願選抜による受検者全体の 14.0%(H27 年度 12.3%)であった。

◇第1学区 15.1% ◇第2学区 16.3% ◇第3学区 13.5%

◇第4学区 10.4% ◇第5学区 4.1%

<参考>

旧学区外の高校に合格した生徒は 2,825 人(H27 年度 2,513 人)であり、複数志願選抜による合格者全体の 13.0%(H27 年度 11.4%)であった。

◇第1学区 13.7% ◇第2学区 15.0% ◇第3学区 13.0%

◇第4学区 9.6% ◇第5学区 4.0%

2 学区ごとの状況 (第1学区)

H28年度			出身中学校の所在地														学力 検査 募集 定員							
			神戸第一 ・芦屋	神戸第二	神戸第三		淡路		隣接区域				その他 (県外・国立・ 私学等)	合計	旧学区外 +隣接区域									
									西宮市	三田市	三木市	明石市												
高校の 所在地	神戸第一 ・芦屋	受検者	1,533	83.5%	159	8.7%	112	6.1%	2	0.1%					31	1.7%	1,837	273	14.9%	1,560				
		合格者	1,298	83.2%	136	8.7%	95	6.1%	2	0.1%					29	1.9%	1,560	233	14.9%					
	神戸第二	受検者	107	8.6%	868	70.1%	242	19.5%	3	0.2%	5	0.4%	1	0.1%	1	0.1%	12	1.0%	1,239	359	29.0%	1,062		
		合格者	72	6.8%	777	73.2%	192	18.1%	3	0.3%	5	0.5%	1	0.1%	1	0.1%	11	1.0%	1,062	274	25.8%			
	神戸第三	受検者	83	3.5%	183	7.6%	2,091	87.3%	15	0.6%					1	0.0%	3	0.1%	20	0.8%	2,396	285	11.9%	2,124
		合格者	52	2.5%	152	7.2%	1,881	88.8%	15	0.7%					1	0.0%	2	0.1%	15	0.7%	2,118	222	10.5%	
	淡路	受検者	0	0.0%	1	0.2%	4	0.6%	643	98.6%						4	0.6%	0	0.0%	652	9	1.4%	641	
		合格者	0	0.0%	1	0.2%	4	0.6%	629	98.6%						4	0.6%	0	0.0%	638	9	1.4%		
															受検者計	6,124	926	15.1%	5,387					
															合格者計	5,378	738	13.7%						

H27年度			出身中学校の所在地														学力 検査 募集 定員							
			神戸第一 ・芦屋	神戸第二	神戸第三	淡路	隣接区域				その他 (県外・国立・ 私学等)	合計	旧学区外 + 隣接区域											
							西宮市	三田市	三木市	明石市														
高校の 所在地	神戸第一 ・芦屋	受検者	1,607	85.7%	144	7.7%	81	4.3%	2	0.1%					41	2.2%	1,875	227	12.1%	1,560				
		合格者	1,344	86.2%	118	7.6%	60	3.8%	2	0.1%					36	2.3%	1,560	180	11.5%					
	神戸第二	受検者	76	6.3%	942	78.1%	171	14.2%	0	0.0%	2	0.2%	3	0.2%	1	0.1%	11	0.9%	1,206	253	21.0%	1,102		
		合格者	59	5.4%	872	79.1%	158	14.3%	0	0.0%	2	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	10	0.9%	1,102	220	20.0%			
	神戸第三	受検者	62	2.6%	160	6.7%	2,143	89.2%	9	0.4%					5	0.2%	4	0.2%	20	0.8%	2,403	240	10.0%	2,231
		合格者	31	1.4%	140	6.4%	1,997	90.7%	8	0.4%					5	0.2%	3	0.1%	18	0.8%	2,202	187	8.5%	
	淡路	受検者	1	0.2%	0	0.0%	7	1.1%	642	98.3%					2	0.3%	1	0.2%	653	10	1.5%	644		
		合格者	1	0.2%	0	0.0%	9	1.4%	632	98.1%					1	0.2%	1	0.2%	644	11	1.7%			
															受検者計		6,137	730	11.9%	5,537				
															合格者計		5,508	598	10.9%					

- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒の割合は、旧神戸第一・芦屋学区は 14.9%、旧神戸第二学区は 29.0%、旧神戸第三学区は 11.9%、旧淡路学区は 1.4%であった。
- ◆ H27 年度入試で、特に旧学区外からの受検者が多かった旧神戸第二学区では、旧学区外からの受検者が大幅に増加(21.0%→29.0%)した。

(第2学区)

H28年度			出身中学校の所在地															学力 検査 募集 定員		
			尼崎		伊丹		西宮		宝塚		丹有		隣接区域 神戸市北区		その他 (県外・国立・ 私学等)		合計		旧学区外 ＋隣接区域	
高校の 所在地	尼崎	受検者	1,531	78.2%	227	11.6%	149	7.6%	30	1.5%	8	0.4%			13	0.7%	1,958		414	21.1%
		合格者	1,325	80.1%	177	10.7%	121	7.3%	16	1.0%	3	0.2%			12	0.7%	1,654	317	19.2%	
	伊丹	受検者	33	1.7%	1,703	85.9%	38	1.9%	189	9.5%	2	0.1%			17	0.9%	1,982	262	13.2%	1,842
		合格者	30	1.6%	1,612	87.5%	24	1.3%	160	8.7%	1	0.1%			15	0.8%	1,842	215	11.7%	
	西宮	受検者	91	4.9%	22	1.2%	1,668	89.4%	58	3.1%	4	0.2%	1	0.1%	22	1.2%	1,866	176	9.4%	1,674
		合格者	71	4.2%	15	0.9%	1,526	91.2%	43	2.6%	1	0.1%	0	0.0%	18	1.1%	1,674	130	7.8%	
	宝塚	受検者	4	0.4%	59	5.6%	185	17.5%	780	73.9%	18	1.7%			10	0.9%	1,056	266	25.2%	1,020
		合格者	3	0.3%	75	7.4%	171	16.8%	741	72.6%	19	1.9%			11	1.1%	1,020	268	26.3%	
	丹有	受検者	0	0.0%	2	0.2%	33	3.0%	12	1.1%	917	83.1%	130	11.8%	9	0.8%	1,103	177	16.0%	1,030
		合格者	0	0.0%	2	0.2%	28	2.7%	9	0.9%	871	84.6%	114	11.1%	6	0.6%	1,030	153	14.9%	
															受検者計		7,965	1,295	16.3%	7,220
															合格者計		7,220	1,083	15.0%	

H27年度			出身中学校の所在地														学力検査募集定員			
			尼崎		伊丹		西宮		宝塚		丹有		隣接区域 神戸市北区	その他 (県外・国立・私学等)	合計	旧学区外 +隣接区域				
高校の所在地	尼崎	受検者	1,571	78.9%	188	9.4%	144	7.2%	54	2.7%	8	0.4%		25	1.3%	1,990	394	19.8%	1,664	
		合格者	1,307	79.5%	161	9.8%	107	6.5%	39	2.4%	7	0.4%		22	1.3%	1,643	314	19.1%		
	伊丹	受検者	22	1.1%	1,829	89.6%	28	1.4%	141	6.9%	5	0.2%		16	0.8%	2,041	196	9.6%	1,911	
		合格者	16	0.8%	1,738	90.9%	22	1.2%	124	6.5%	2	0.1%		9	0.5%	1,911	164	8.6%		
	西宮	受検者	81	4.3%	17	0.9%	1,677	89.5%	69	3.7%	1	0.1%	1	0.1%	27	1.4%	1,873	169	9.0%	1,634
		合格者	62	3.8%	12	0.7%	1,492	91.3%	48	2.9%	1	0.1%	1	0.1%	18	1.1%	1,634	124	7.6%	
	宝塚	受検者	3	0.3%	41	4.1%	146	14.6%	796	79.8%	7	0.7%		5	0.5%	998	197	19.7%	1,020	
		合格者	4	0.4%	46	4.5%	154	15.1%	798	78.2%	12	1.2%		6	0.6%	1,020	216	21.2%		
	丹有	受検者	0	0.0%	2	0.2%	28	2.5%	10	0.9%	981	87.0%	99	8.8%	7	0.6%	1,127	139	12.3%	1,044
		合格者	0	0.0%	2	0.2%	20	1.9%	6	0.6%	921	88.9%	80	7.7%	7	0.7%	1,036	108	10.4%	
														受検者計		8,029	1,095	13.6%	7,273	
														合格者計		7,244	926	12.8%		

- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒の割合は、旧尼崎学区は 21.1%、旧伊丹学区は 13.2%、旧西宮学区は 9.4%、旧宝塚学区は 25.2%、旧丹有学区は 16.0%であった。
- ◆ H27 年度入試で、旧学区外からの受検者が多かった旧尼崎学区では、旧学区外からの受検者が増加(19.8%→21.1%)した。
- ◆ 旧尼崎学区と同じく、旧学区外からの受検者が多かった旧宝塚学区では、旧学区外からの受検者が大幅に増加(19.7%→25.2%)した。

(第3学区)

H28年度			出身中学校の所在地														学力 検査 募集 定員			
			明石		加印		北播		隣接区域				その他 (県外・国立・ 私学等)	合計	旧学区外 ＋隣接区域					
									神戸市西区		神戸市北区							淡路市	姫路市	
高校の 所在地	明石	受検者	1,275	75.1%	188	11.1%	3	0.2%	207	12.2%		16	0.9%	9	0.5%	1,698	414	24.4%	1,580	
		合格者	1,191	75.4%	175	11.1%	1	0.1%	188	11.9%		16	1.0%	9	0.6%	1,580	380	24.1%		
	加印	受検者	136	6.7%	1,829	89.5%	10	0.5%				64	3.1%	5	0.2%	2,044	210	10.3%	1,873	
		合格者	112	6.0%	1,694	90.4%	8	0.4%						3	0.2%	1,873	176	9.4%		
	北播	受検者	0	0.0%	6	0.4%	1,312	90.4%	57	3.9%	14	1.0%			62	4.3%	1,451	77	5.3%	1,408
		合格者	0	0.0%	6	0.4%	1,254	90.3%	55	4.0%	14	1.0%			60	4.3%	1,389	75	5.4%	
														受検者計		5,193	701	13.5%	4,861	
														合格者計		4,842	631	13.0%		

H27年度			出身中学校の所在地															学力 検査 募集 定員			
			明石		加印		北播		隣接区域				その他 (県外・国立・ 私学等)		合計	旧学区外 +隣接区域					
									神戸市西区		神戸市北区								淡路市	姫路市	
高校の 所在地	明石	受検者	1,343	73.9%	228	12.5%	4	0.2%	210	11.6%		18	1.0%		15	0.8%	1,818	460	25.3%	1,586	
		合格者	1,180	74.4%	167	10.5%	4	0.3%	203	12.8%		17	1.1%		15	0.9%	1,586	391	24.7%		
	加印	受検者	97	4.9%	1,765	89.8%	11	0.6%						86	4.4%	7	0.4%	1,966	194	9.9%	1,906
		合格者	87	4.6%	1,700	90.5%	11	0.6%						74	3.9%	7	0.4%	1,879	172	9.2%	
	北播	受検者	1	0.1%	15	1.0%	1,379	89.4%	63	4.1%	19	1.2%			65	4.2%	1,542	98	6.4%	1,465	
		合格者	1	0.1%	13	0.9%	1,320	90.1%	56	3.8%	18	1.2%			57	3.9%	1,465	88	6.0%		
															受検者計		5,326	752	14.1%	4,957	
															合格者計		4,930	651	13.2%		

- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒の割合は、旧明石学区は 24.4%、旧加印学区は 10.3%、旧北播学区は 5.3%であった。
- ◆ H27 年度入試で、旧学区外からの受検者が多かった旧明石学区では、H28 年度入試において、旧学区外からの受検者がわずかに減少(25.3%→24.4%)し、旧加印学区ではわずかに増加(9.9%→10.3%)した。

(第4学区)

H28年度			出身中学校の所在地												学力 検査 募集 定員					
			姫路・福崎		西播		隣接区域				その他 (県外・国立・ 私学等)		合計	旧学区外 +隣接区域						
							高砂市		朝来市											
高 校 の 所 在 地	姫路・福崎	受検者	2,357	93.3%	139	5.5%	17	0.7%	0	0.0%	12	0.5%	2,525	156	6.2%	2,274				
		合格者	2,141	94.2%	113	5.0%	9	0.4%	0	0.0%	10	0.4%	2,273	122	5.4%					
	西播	受検者	242	18.5%	1,060	81.1%					5	0.4%	1,307	242	18.5%	1,287				
		合格者	218	17.2%	1,046	82.5%					4	0.3%	1,268	218	17.2%					
																受検者計	3,832	398	10.4%	3,561
																合格者計	3,541	340	9.6%	

H27年度			出身中学校の所在地												学力 検査 募集 定員					
			姫路・福崎		西播		隣接区域			その他 (県外・国立・ 私学等)		合計	旧学区外 ＋隣接区域							
							高砂市	朝来市												
高校の 所在地	姫路・福崎	受検者	2,198	93.4%	122	5.2%	19	0.8%	0	0.0%	14	0.6%	2,353	141	6.0%	2,274				
		合格者	2,110	93.6%	115	5.1%	19	0.8%	0	0.0%	11	0.5%	2,255	134	5.9%					
	西播	受検者	203	14.6%	1,181	84.9%						7	0.5%	1,391	203	14.6%	1,326			
		合格者	179	13.7%	1,126	85.9%						6	0.5%	1,311	179	13.7%				
																受検者計	3,744	344	9.2%	3,600
																合格者計	3,566	313	8.8%	

- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒の割合は、旧姫路・福崎学区は 6.2%、旧西播学区は 18.5%であった。
- ◆ 特に、旧西播学区では、旧姫路・福崎学区からの受検者が増加(14.6%→18.5%)した。

(第5学区)

H28年度			出身中学校の所在地										学力 検査 募集 定員	
			北但		南但		隣接区域 神河町		その他 (県外・国立・ 私学等)		合計	旧学区外 ＋隣接区域		
高校の 所在地	北但	受検者	498	99.4%	3	0.6%		0	0.0%	501	3	0.6%	516	
		合格者	493	99.4%	3	0.6%		0	0.0%	496	3	0.6%		
	南但	受検者	19	5.9%	291	90.4%	12	3.7%	0	0.0%	322	31	9.6%	336
		合格者	19	5.9%	291	90.7%	11	3.4%	0	0.0%	321	30	9.3%	
								受検者計	823	34	4.1%	852		
								合格者計	817	33	4.0%			

H27年度			出身中学校の所在地										学力 検査 募集 定員	
			北但		南但		隣接区域 神河町	その他 (県外・国立・私学等)		合計	旧学区外 + 隣接区域			
高校の 所在地	北但	受検者	488	98.8%	6	1.2%		0	0.0%	494	6	1.2%	528	
		合格者	485	98.8%	6	1.2%		0	0.0%	491	6	1.2%		
	南但	受検者	10	3.2%	291	93.9%	9	2.9%	0	0.0%	310	19	6.1%	334
		合格者	10	3.2%	290	93.9%	9	2.9%	0	0.0%	309	19	6.1%	
								受検者計		804	25	3.1%	862	
								合格者計		800	25	3.1%		

○ 第5学区における進学連携中学校以外の合格者数の割合

旧学区	高校	合格者 数計	進学連携中学校 以外合格者数	募集 定員	募集定員に対する進学連携中学校以外の 合格者数の割合	
					H28	H27(参考)
北但	豊岡	160	23	160	14.4%	13.8%
	出石	108	0	108	0.0%	0.0%
	浜坂	90	8	108	7.4%	10.0%
	香住	80	9	80	11.3%	8.8%
南但	村岡	35	2	46	4.3%	6.4%
	八鹿	160	20	160	12.5%	13.8%
	生野	35	1	40	2.5%	0.0%

- ◆ 旧学区外の高校を受検した生徒の割合は、旧北但学区は0.6%、旧南但学区は9.6%であった。
- ◆ 旧南但学区では、旧北但学区からの受検者の割合が増加(3.2%→5.9%)した。
- ◆ 第5学区の進学連携中学校以外からの合格者の割合は、豊岡高校で増加(13.8%→14.4%)し、香住高校で増加(8.8%→11.3%)した。

<参考>

H26年度の学力検査までは、連携中学校以外からの合格者の割合を、旧北但学区では6%以内、旧南但学区では5%以内と設定していたが、H27年度から18%以内に変更した。



【分析】

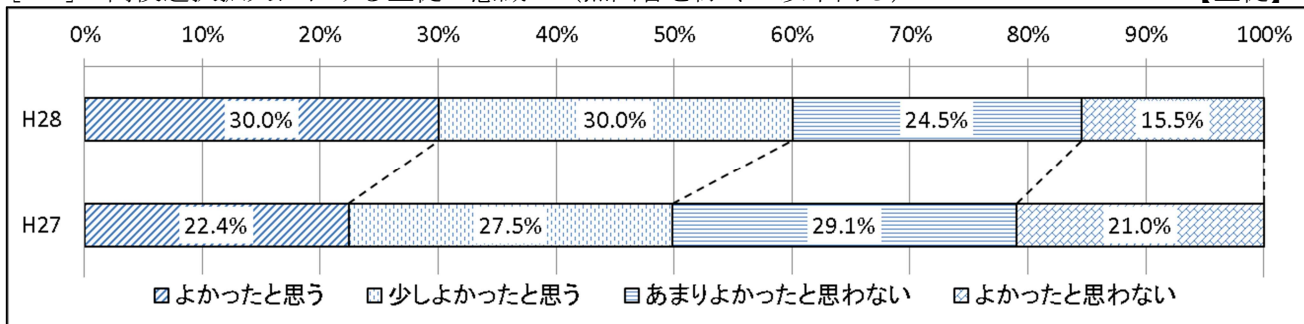
- 県下全体としては、旧学区外の高校を受検した生徒及び合格した生徒の割合が、わずかながら増加した。
- 受検者の志願状況には地域により若干の差はあるものの、学区ごとの受検者の流動状況は、H27年度と比べて特に大きな変化はない。

Ⅱ アンケートの分析

1 進路選択に対する生徒等の意識及び理解と中学校における進路指導

[1-1] 高校選択拡大における生徒の意識（無回答を除く 以下同じ）

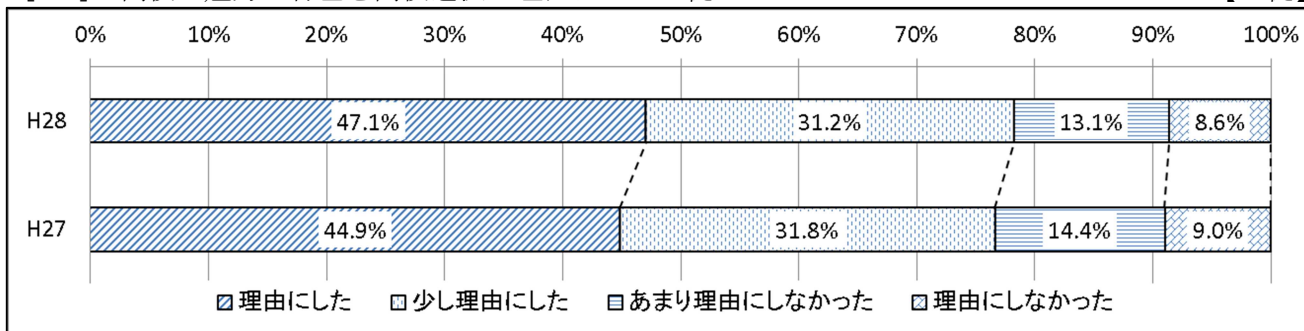
【生徒】



◆ 高校の選択肢が増えたことに対して、「思った」と感じた生徒は、H27 年度より約 10 ポイント増加（49.9%→60.0%）した。

[1-2] 高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒

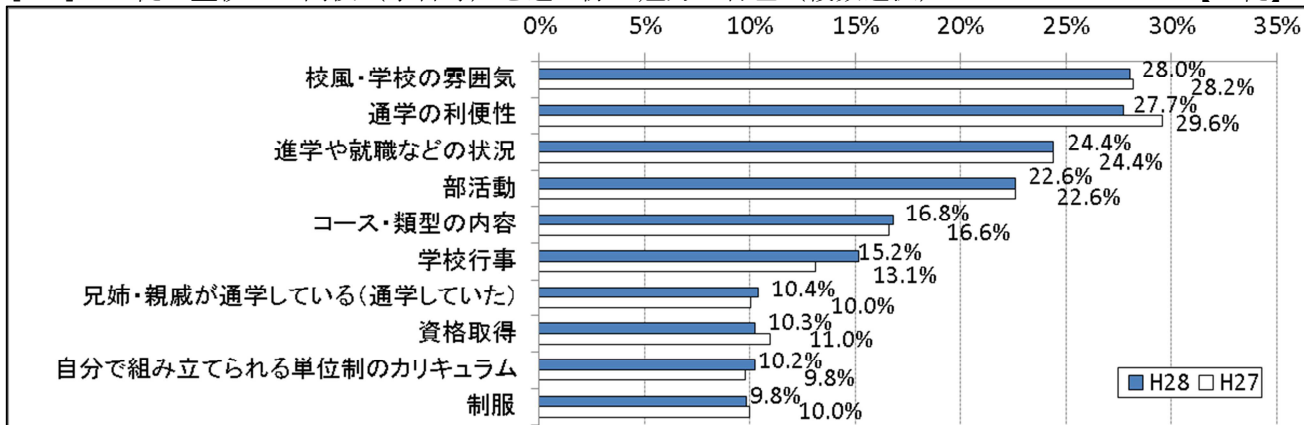
【生徒】



◆ 高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒は 78.3% (H27 年度 76.7%) であり、H27 年度と同程度であった。

[1-3] 生徒が重視した高校（学科等）を選ぶ際の魅力・特色（複数選択）

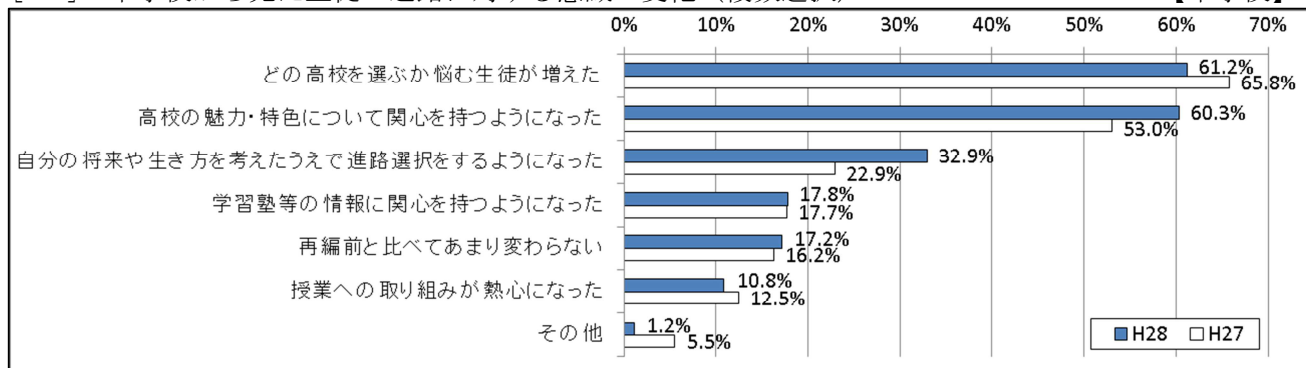
【生徒】



◆ 生徒が高校選択において重視したポイントは、「校風・学校の雰囲気（28.0%）」、「通学の利便性（27.7%）」、「進学や就職などの状況（24.4%）」、「部活動（22.6%）」等であり、H27 年度は「通学の利便性」の割合が最も高かったが、H28 年度は「校風・学校の雰囲気」の割合が最も高くなった。

[1-4] 中学校から見た生徒の進路に対する意識の変化（複数選択）

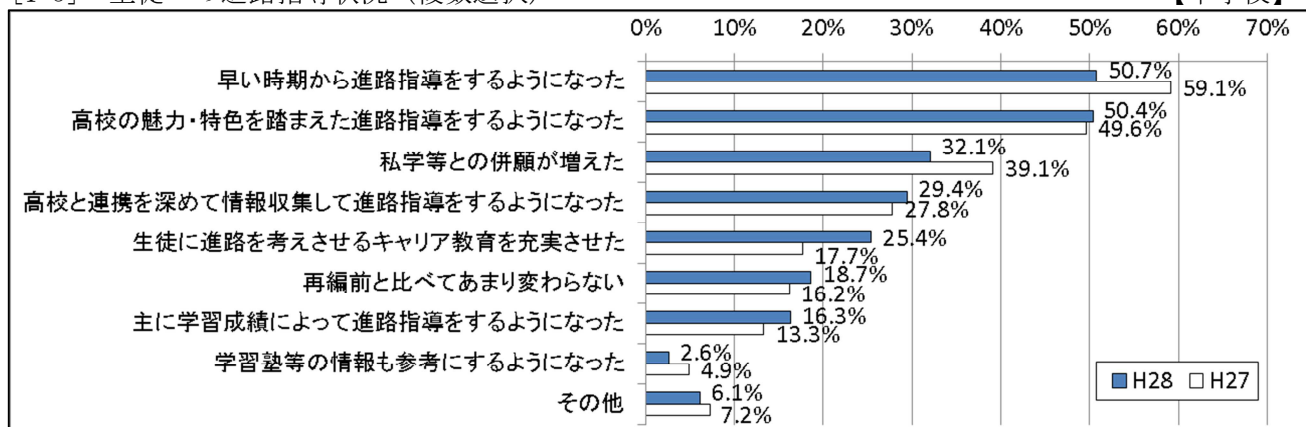
【中学校】



- ◆ 高校の選択肢が増えたことで「どの高校を選ぶか悩む生徒が増えた」と感じた中学校長は、H27年度より約5ポイント減少（65.8%→61.2%）した。
- ◆ 生徒が「高校の魅力・特色について関心を持つようになった」と感じた中学校長は、H27年度より約7ポイント増加（53.0%→60.3%）した。
- ◆ 生徒が「自分の将来や生き方を考えたうえで進路選択をするようになった」と感じた中学校長は、H27年度より10ポイント増加（22.9%→32.9%）した。

[1-5] 生徒への進路指導状況（複数選択）

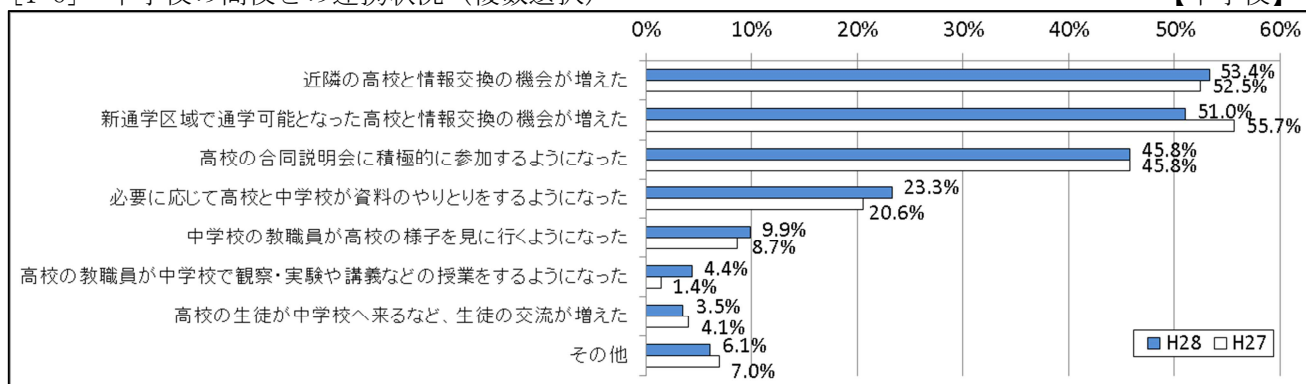
【中学校】



- ◆ 進路指導において、早い時期から取り組んだり、魅力・特色を踏まえたりする取組がともに50%を超えるなど、H27年度と同様の傾向であった。
- ◆ 生徒に進路を考えさせるキャリア教育を充実させた中学校は、H27年度より約8ポイント増加（17.7%→25.4%）した。

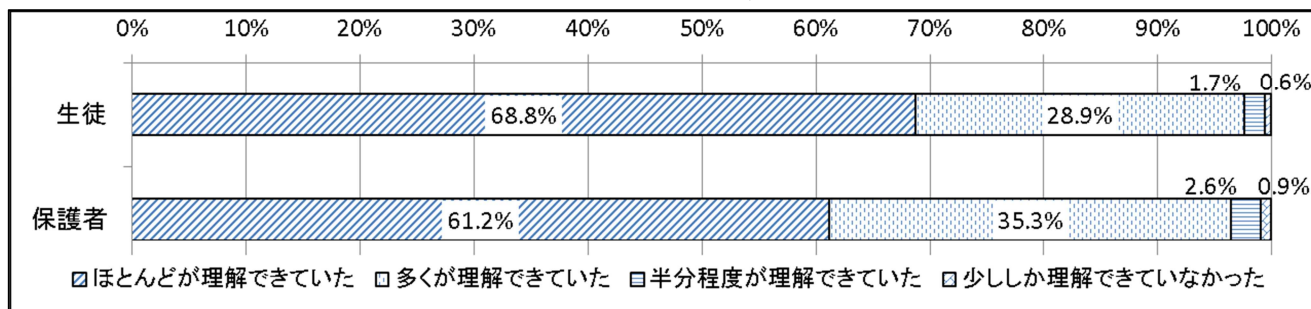
[1-6] 中学校の高校との連携状況（複数選択）

【中学校】



- ◆ 中学校、高校間の情報交換の機会が増えたと感じた中学校長は、50%を超えており、H27年度と同様の傾向であるが、教員が直接学校を見に行くなど、教員同士の交流も増えつつある。

[1-7] 複数志願選抜の内容に関する生徒及び保護者の理解（中学３年生の１２月頃の段階） 【中学校】



- ◆ 高校選択を決定する３年生の１２月時点において、複数志願選抜の内容について、理解できていた生徒及び保護者の割合は、生徒は 97.7% (H27 年度 95.1%) で、保護者は 96.5% (H27 年度 95.6%) であり、ほぼ理解できている。



【分析】

- 生徒は、高校の魅力・特色を踏まえ、再編以前よりさらに主体的に高校選びをするようになっている。
- 中学校では、生徒が自分の生き方を考えた上で進路選択できるよう指導の充実に取り組むなど丁寧なキャリア教育を行っている。
- 中学生のみならず、保護者についても、複数志願選抜の内容に関する周知が進んでいる。

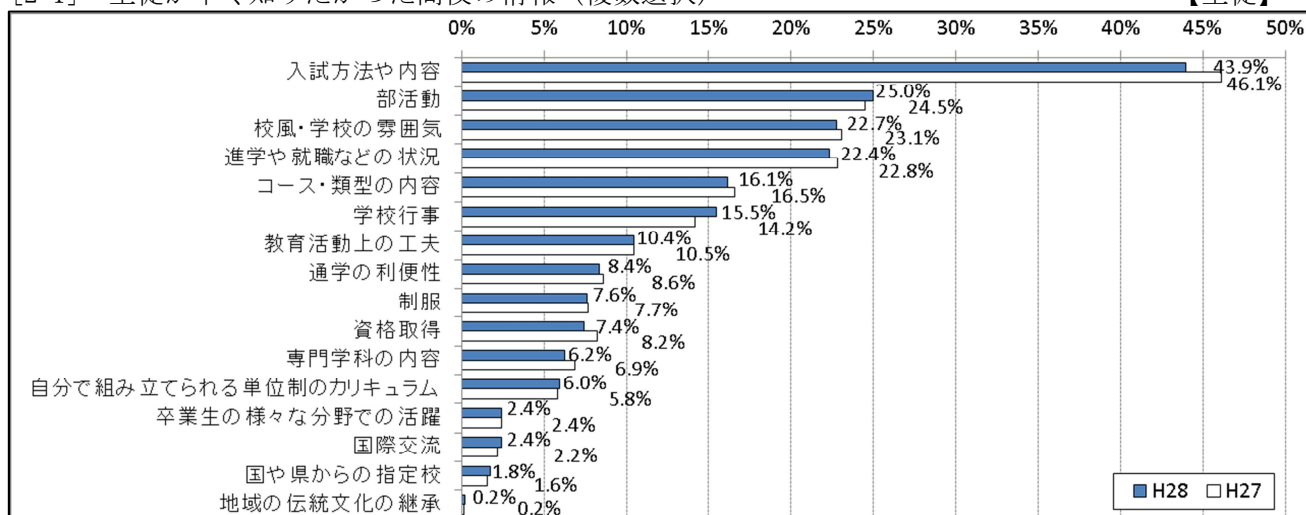
【今後の方向性】

- ◎中学校は、生徒及び保護者の進路希望を考慮しつつ、引き続きキャリア教育の充実に努める必要がある。
- ◎高校は、中学生、保護者及び中学校が求める魅力・特色に関する情報を、引き続き丁寧に提供していく必要がある。

2 生徒・保護者等の高校に関する情報に対する意識

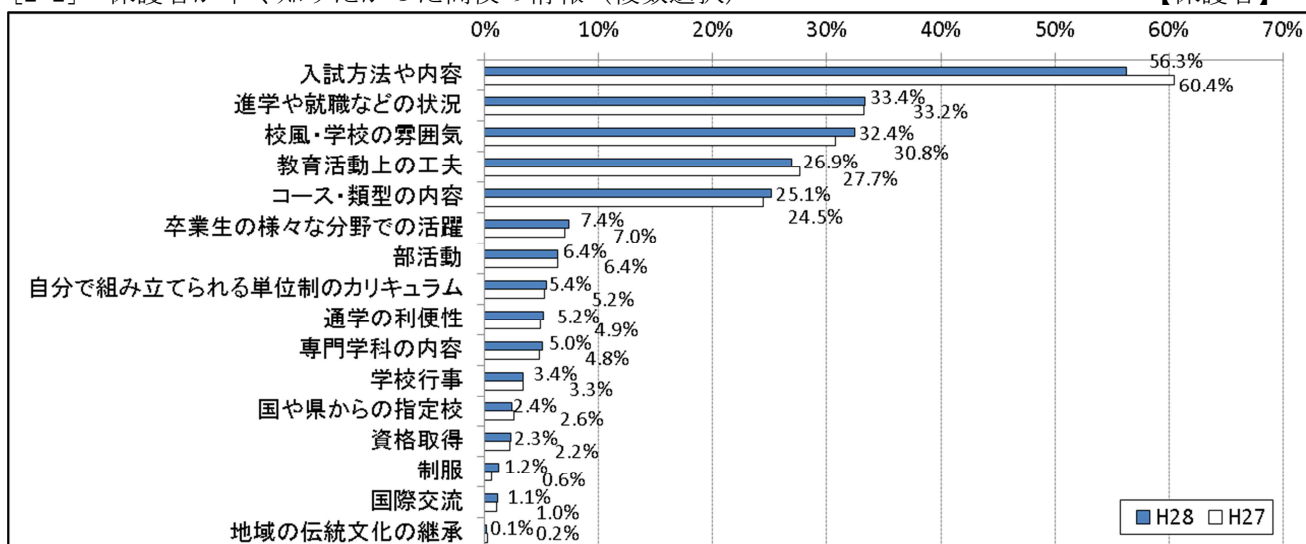
[2-1] 生徒が早く知りたかった高校の情報（複数選択）

【生徒】



[2-2] 保護者が早く知りたかった高校の情報（複数選択）

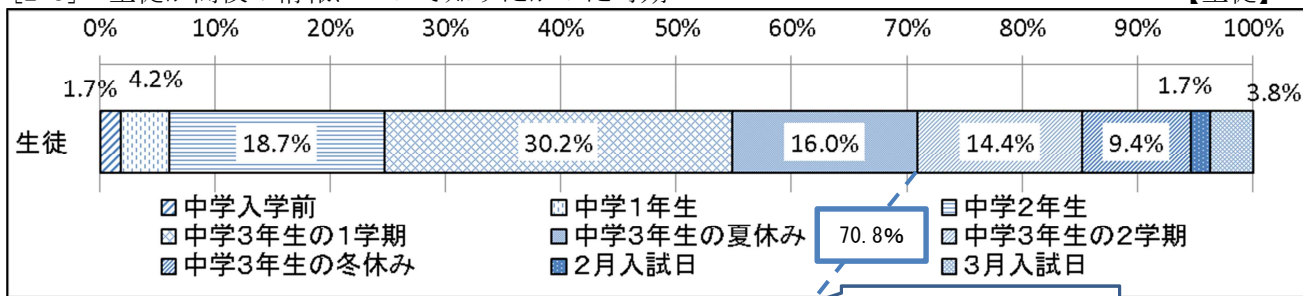
【保護者】



- ◆ 生徒及び保護者が共通して求める高校の情報は、「入試方法や内容」、「校風・学校の雰囲気」、「進学や就職などの状況」、「コース・類型の内容」、「教育活動上の工夫」であり、H27 年度と同様の傾向である。
- ◆ 生徒は特に「部活動（24.5%→25.0%）」、「学校行事（14.2%→15.5%）」に関する情報も求めている。

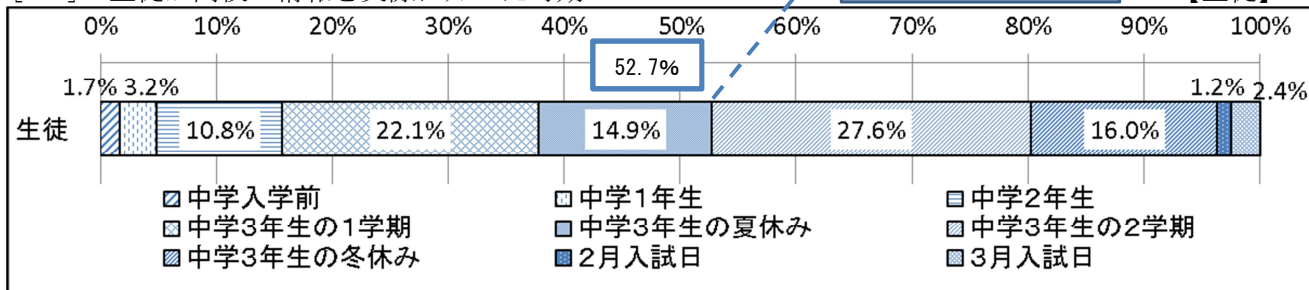
[2-3] 生徒が高校の情報について知りたかった時期

【生徒】



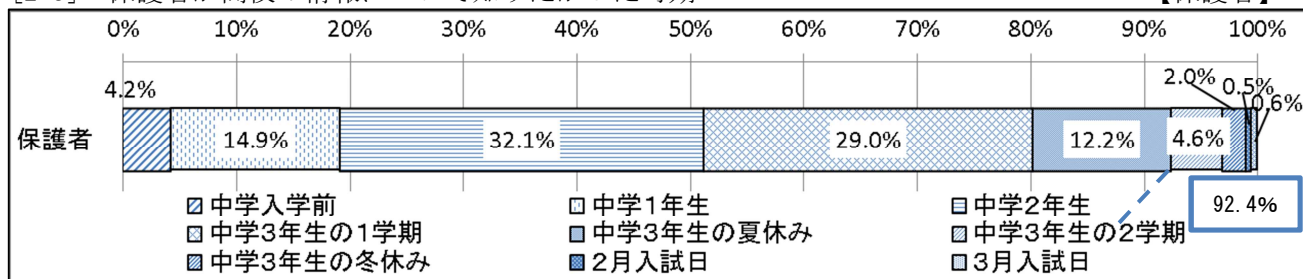
[2-4] 生徒が高校の情報を実際に知った時期

【生徒】



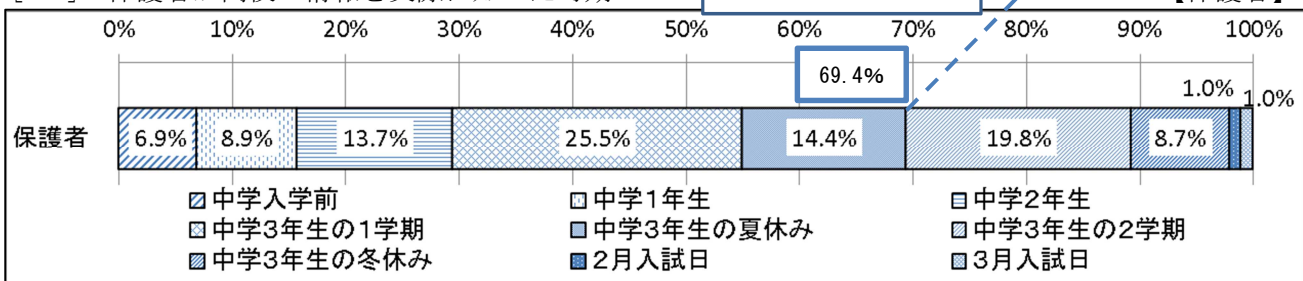
[2-5] 保護者が高校の情報について知りたかった時期

【保護者】



[2-6] 保護者が高校の情報を実際に知った時期

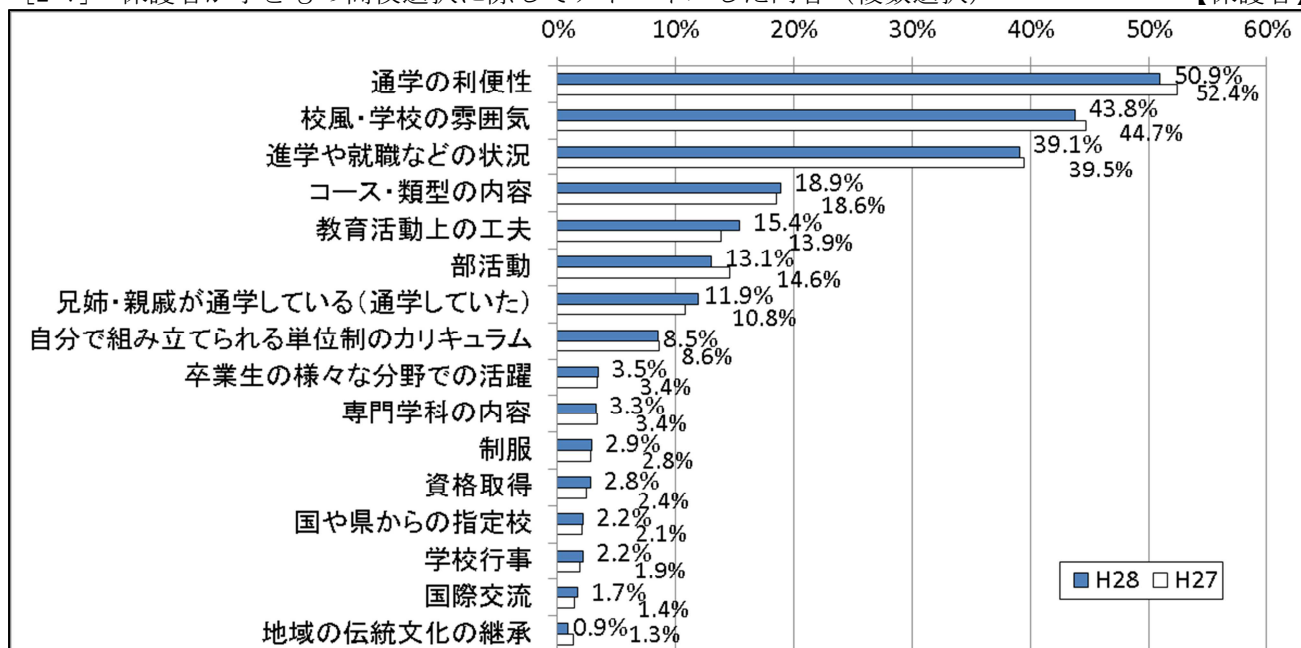
【保護者】



- ◆ 高校の情報について、中学3年生の夏休みまでに知りたかった生徒は70.8% (H27年度70.3%)、保護者は92.4% (H27年度92.1%) であったのに対し、実際にその時期までに知った生徒は52.7% (H27年度51.7%)、保護者は69.4% (H27年度69.5%) と、H27年度と同程度の差異があった。

[2-7] 保護者が子どもの高校選択に際してアドバイスした内容（複数選択）

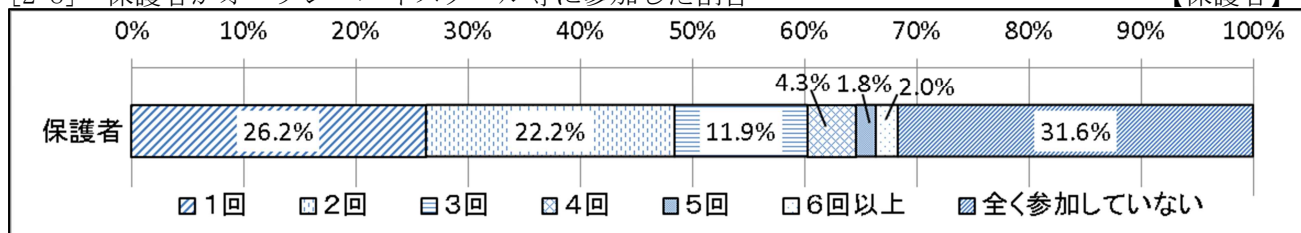
【保護者】



◆ 保護者が子どもに対して行ったアドバイスは「通学の利便性（50.9%）」「校風・学校の雰囲気（43.8%）」「進学や就職などの状況（39.1%）」などであり、H27年度と同様の傾向であった。

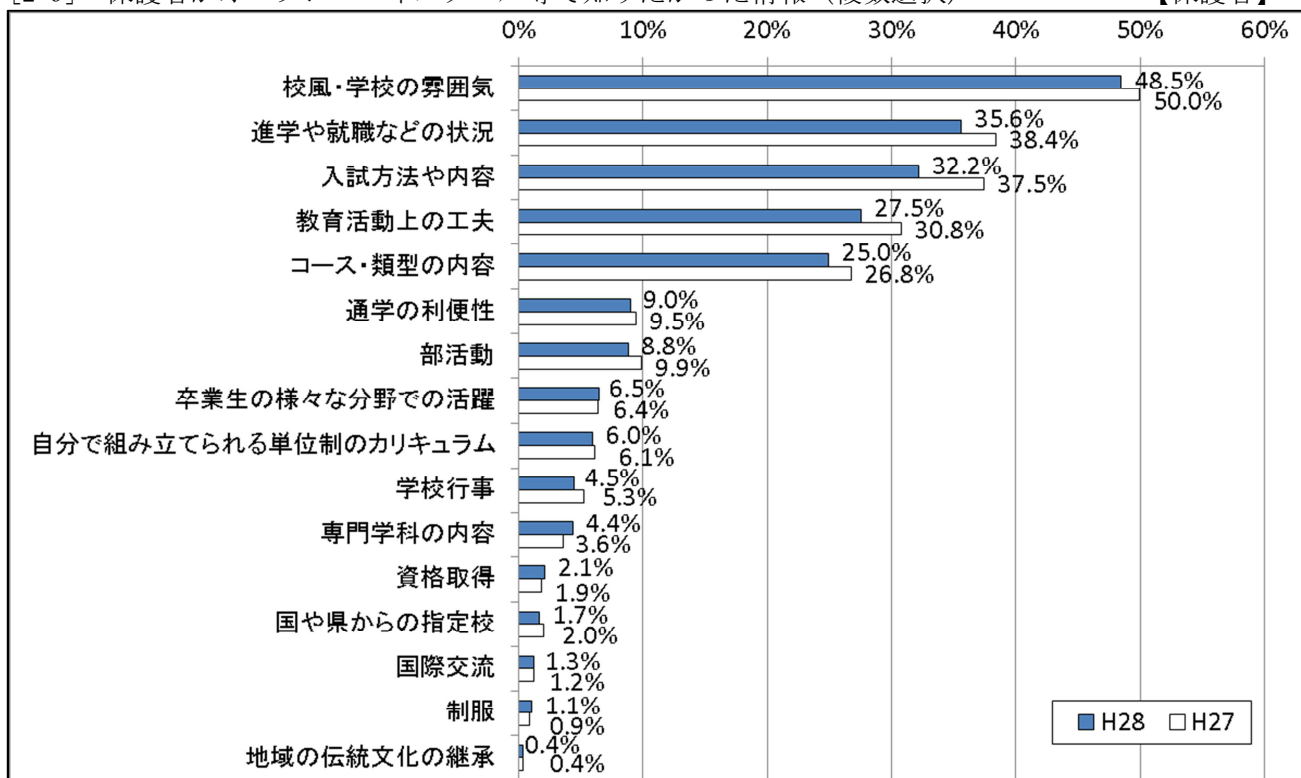
[2-8] 保護者がオープン・ハイスクール等に参加した割合

【保護者】



[2-9] 保護者がオープン・ハイスクール等で知りたかった情報（複数選択）

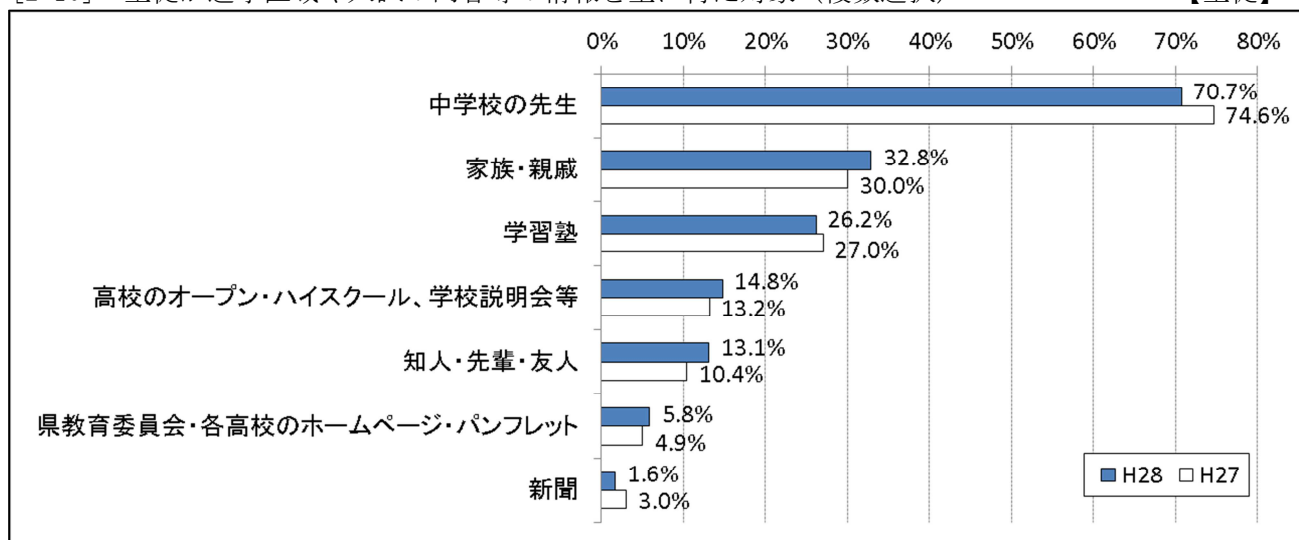
【保護者】



◆ 高等学校の説明会等に1～3回程度参加した保護者は60.3%であり、そこで知りたかった情報として、「校風・学校の雰囲気（48.5%）」、「進学や就職などの状況（35.6%）」、「入試方法や内容（32.2%）」等を挙げている。

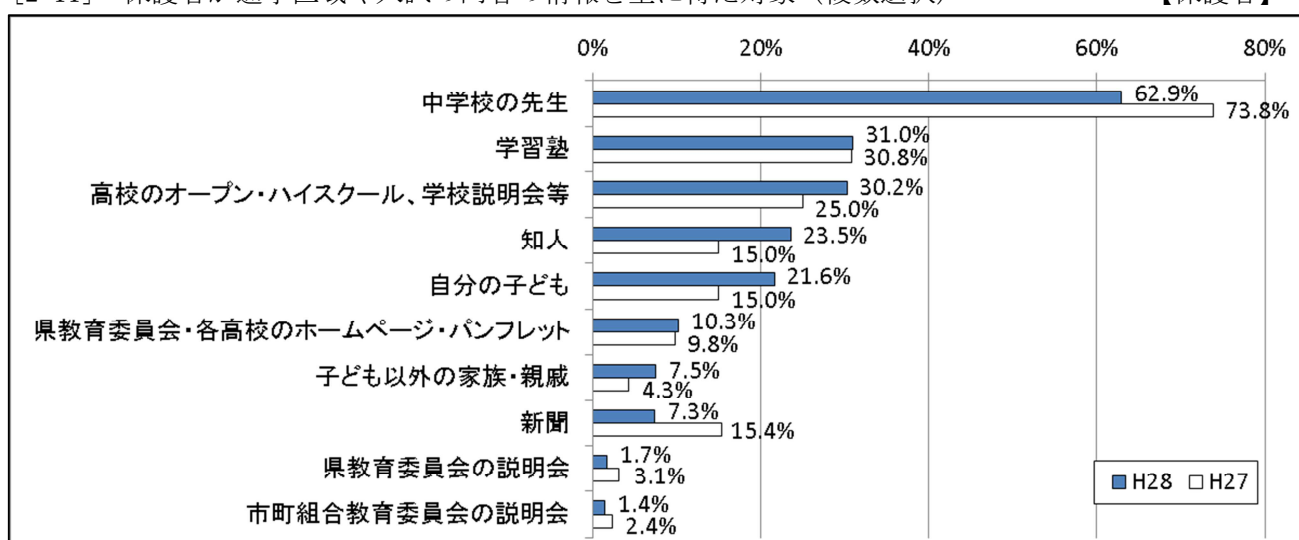
[2-10] 生徒が通学区域や入試の内容等の情報を主に得た対象（複数選択）

【生徒】

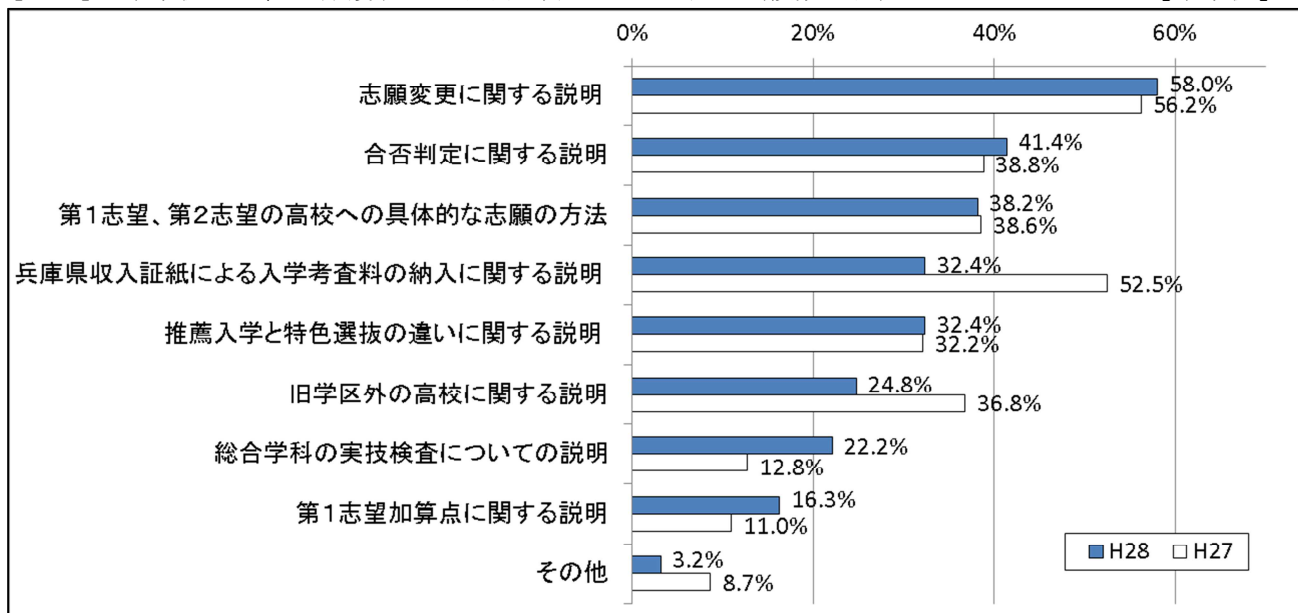


[2-11] 保護者が通学区域や入試の内容の情報を主に得た対象（複数選択）

【保護者】



- ◆ 通学区域や入試の内容の情報の主な入手先は、生徒・保護者ともに「中学校の先生（生徒 74.6% → 70.7%、保護者 73.8% → 62.9%）」からであり、H27 年度と同様であるが、高校のオープン・ハイスクール、学校説明会等に参加して高校の情報を直接得ようとする傾向（25.0% → 30.2%）も見られる。



- ◆ 中学校において生徒や保護者に対して説明が難しかった項目は、「志願変更(58.0%)」、「合否判定(41.4%)」、「第1志望、第2志望の扱い(38.2%)」であり、H27年度と同程度であった。
- ◆ H27年度、説明が難しいと中学校長が感じていた「兵庫県収入証紙による入学考査料の納入(52.5%→32.4%)」、「旧学区外の高校(36.8%→24.8%)」の割合は減少した。



【分析】

- 生徒・保護者が求める高校情報の内容に変化はないが、実際に情報を得た時期は、希望どおりとなっていない傾向がある。
- 生徒・保護者は、主に中学校の先生から情報を得ているが、オープン・ハイスクール等に参加して、校風・学校の雰囲気等の情報を直接得ようとする傾向が見られる。
- 兵庫県収入証紙による入学考査料の納入等、通学区域の再編に伴い変更した制度の内容については、周知が進みつつある。

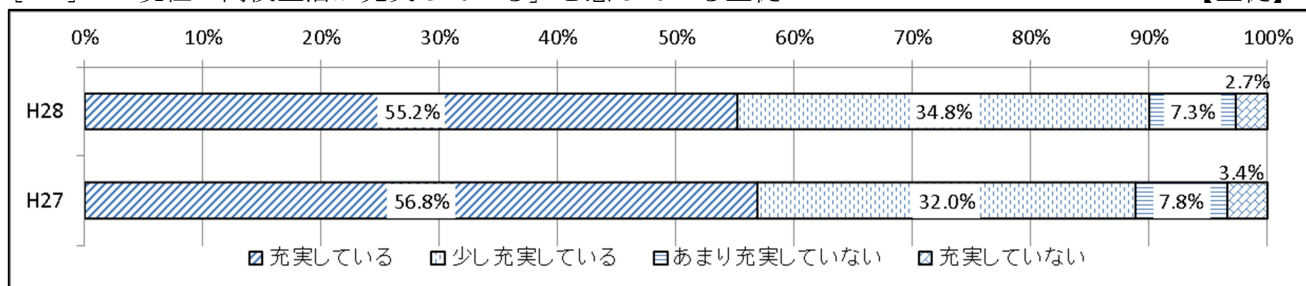
【今後の方向性】

- ◎中学校は、今後も引き続き、生徒や保護者の知りたい情報やその時期を考慮し、PTA総会や夏休みの三者面談等の活用など、可能な限り早い段階での説明に努める必要がある。
- ◎高校は、オープン・ハイスクール等において、生徒会が主体となった説明の時間や交流の時間を設けたり、中学生に授業や部活動等を見学させるなど、さらなる高校紹介の工夫が必要である。

3 入学後の高校生活について

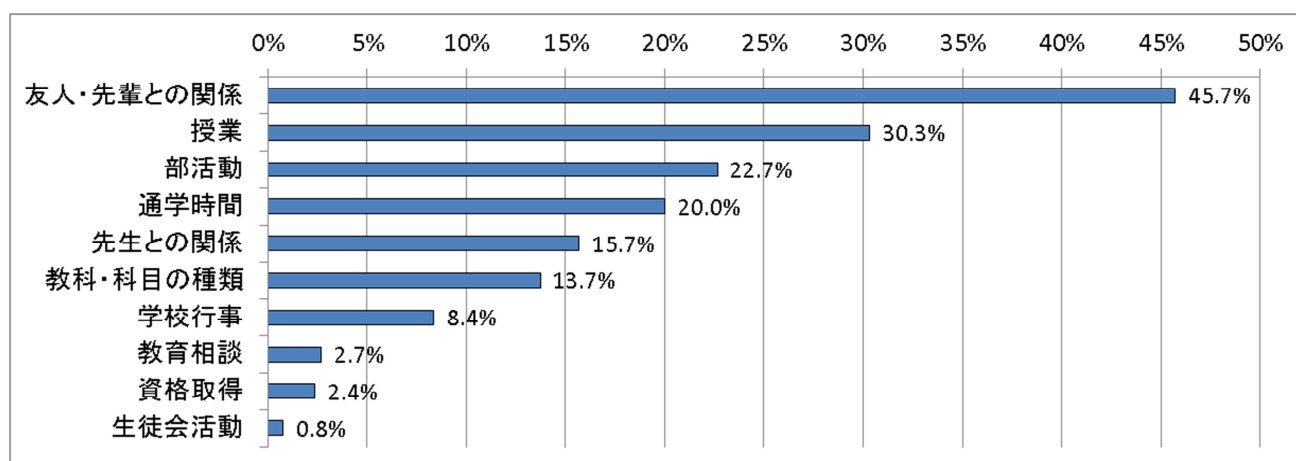
[3-1] 「現在の高校生活が充実している」と感じている生徒

【生徒】



[3-2] [3-1] で、「充実していない」もしくは「あまり充実していない」と回答した生徒が、充実していないと感じている点（対象 3,256 人）

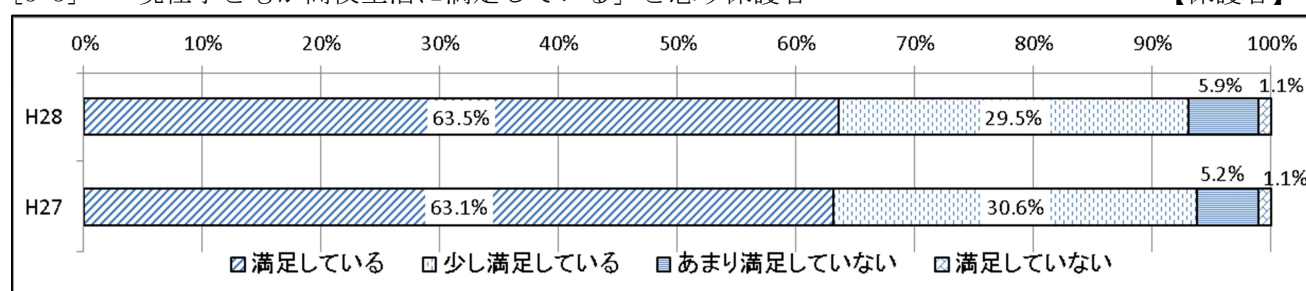
【生徒】



- ◆ 生徒のうち、現在の高校生活について「充実している」「少し充実している」と回答した割合は 90.0%であった。
- ◆ 「充実していない」と回答した生徒 (10.0%) は、その要因として「友人・先輩との関係(45.7%)」、「授業 (30.3%)」、「部活動(22.7%)」等を挙げている。

[3-3] 「現在子どもが高校生活に満足している」と思う保護者

【保護者】



- ◆ 保護者のうち、子どもが高校生活に「満足している」「少し満足している」と回答した割合は 93.0%で、H27 年度と同様であった。



【分析と今後の方向性】

◎大多数の生徒は現在の高校生活が充実していると感じているが、H27 年度と同様、1 割程度の生徒は「充実していない」と感じていることから、高校において、これらの生徒の実態を的確に把握し、改善に努める必要がある。

4 その他（中学校長から寄せられた主な意見）

- ◆旧学区以外の高校に進学を希望する生徒が増えた。
- ◆オープン・ハイスクール等に積極的に参加し、自分の目で高校を見ようとする生徒が増えた。
- ◆生徒が自分の将来を考えて、多様な進路選択ができるようになった。
- ◆新通学区域による入学者選抜や、特色ある高校づくりも定着してきた感がある。
- ◆通学区域が拡大したことは、意欲を持つ生徒にとって大きな励みとなっている。
- ◆高校の特徴などの情報を収集しようとする教員の意識が高まった。
- ◆3年生担当以外の教員の進路指導に対する関心が強くなった。
- ◆生徒が学習に向かうよう、教員が授業改善や補習の充実を図るようになった。
- ◆3年間を見通した系統立った進路指導の必要性を、教員が今まで以上に意識するようになった。
- ◇通学区域の拡大に伴い、受検校が増えたため、出願の際の事務量が増加した。
- ◇近くにある高校がさらに行きたい高校となるような魅力・特色づくりを継続してほしい。

Ⅲ その他の主なアンケート結果

1 高校新入生対象

- あなたは、入学した高校(学科等)の魅力・特色についての情報を、主に誰(どこ)から得ましたか。
(最大3つまで選んでください。)

- ①中学校の先生
②家族・親戚
③知人・先輩・友人
④新聞
⑤県教育委員会・各高校のホームページ・パンフレット
⑥高校のオープン・ハイスクール、学校説明会等
⑦学習塾

番号	人数	H28割合	H27割合
①	11,730	35.6%	38.5%
②	10,855	33.0%	32.3%
③	9,773	29.7%	29.5%
④	171	0.5%	0.5%
⑤	6,855	20.8%	19.7%
⑥	16,210	49.2%	48.9%
⑦	5,909	17.9%	17.8%
合計	61,503		

- あなたにとって、オープン・ハイスクールや学校説明会の実施時期は適切でしたか。

- ①適切であった
②もう少し早い方がよい
③もう少し遅い方がよい
④わからない

番号	人数	H28割合	H27割合
①	18,125	55.4%	53.7%
②	3,896	11.9%	11.5%
③	1,406	4.3%	4.4%
④	9,282	28.4%	30.4%
無回答	215		
合計	32,924	100.0%	100.0%

- あなたにとって、オープン・ハイスクールや学校説明会の実施回数は適切でしたか。

- ①適切であった
②もう少し多い方がよい
③もう少し少ない方がよい
④わからない

番号	人数	H28割合	H27割合
①	17,695	54.3%	52.0%
②	5,601	17.2%	15.2%
③	435	1.3%	1.2%
④	8,837	27.1%	31.7%
無回答	356		
合計	32,924	100.0%	100.0%

- あなたは、3月入試で平成28年3月1日～3日の間に志願変更の手続きをしましたか。

- ①2月入試しか受検していない
②3月入試を受検したが志願変更はしなかった
③同一高校の単独の選抜実施学科の間で志願変更をした(例:商業科から家庭科へ)
④単独の選抜実施校から単独の選抜実施校へ志願変更をした
(例:A高校の機械科からB高校の機械科へ)
⑤単独の選抜実施校から複数志願選抜実施校へ志願変更をした
(例:A高校の商業科からA高校またはB高校の普通科へ)
⑥複数志願選抜実施校から単独の選抜実施校へ志願変更をした
(例:A高校の普通科からA高校またはB高校の商業科へ)
⑦複数志願選抜の第2志望のみを変更または取りやめた

番号	人数	H28割合	H27割合
①	9,102		
②	23,026	96.7%	96.3%
③	103	0.4%	0.3%
④	98	0.4%	0.3%
⑤	110	0.5%	0.4%
⑥	98	0.4%	0.4%
⑦	387	1.6%	2.4%
合計	32,924	100.0%	100.0%

- あなたは、高校選択の中で、通学時間は考慮しましたか。

- ①考慮した
②少し考慮した
③あまり考慮しなかった
④考慮しなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	11,197	34.4%	34.9%
②	10,741	33.0%	32.3%
③	6,527	20.1%	19.9%
④	4,042	12.4%	12.9%
無回答	417		
合計	32,924	100.0%	100.0%

- あなたは、高校選択の中で、高校への通学アクセスについて、電車やバスなどの公共交通機関の利便性は考慮しましたか。

- ①考慮した
②少し考慮した
③あまり考慮しなかった
④考慮しなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	8,156	25.3%	25.0%
②	8,744	27.1%	26.3%
③	5,802	18.0%	17.9%
④	9,598	29.7%	30.8%
無回答	624		
合計	32,924	100.0%	100.0%

- あなたは、高校選択の中で、通学費用は考慮しましたか。

- ①考慮した
②少し考慮した
③あまり考慮しなかった
④考慮しなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	7,818	24.4%	23.8%
②	7,967	24.9%	23.8%
③	6,936	21.6%	21.8%
④	9,319	29.1%	30.6%
無回答	884		
合計	32,924	100.0%	100.0%

- 高校までの片道の通学時間はどれくらいですか。

- ①15分未満(寮を含む)
②15分以上30分未満
③30分以上45分未満
④45分以上1時間未満
⑤1時間以上1時間15分未満
⑥1時間15分以上1時間30分未満
⑦1時間30分以上1時間45分未満
⑧1時間45分以上2時間未満
⑨2時間以上

番号	人数	H28割合	H27割合
①	3,976	12.2%	13.4%
②	9,519	29.3%	28.2%
③	8,248	25.4%	24.5%
④	5,923	18.2%	17.9%
⑤	2,945	9.1%	9.6%
⑥	1,143	3.5%	4.0%
⑦	569	1.8%	1.9%
⑧	170	0.5%	0.6%
⑨	10	0.0%	0.0%
無回答	421		
合計	32,924	100.0%	100.0%

※複数志願選抜を受検した者で2時間以上の者は2人。

2 新入生保護者対象

- 中学3年生でのお子様の様子はどうでしたか。(最大2つまで選んでください。)

- ①新通学区内の高校の魅力・特色についてよく調べていた
②中学校の先生に対して進路の質問をよくしていた
③学習塾に対して進路の質問をよくしていた
④家族に対して将来のことや職業についてよく話をしていた
⑤高校選びについてよく考えていた
⑥特に変わった様子はなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	499	12.1%	11.7%
②	648	15.8%	16.5%
③	809	19.7%	17.7%
④	826	20.1%	17.8%
⑤	1,665	40.5%	42.0%
⑥	1,049	25.5%	26.5%
合計	5,496		

- あなたは、お子様の高校選択の中で、通学費用は考慮しましたか。

- ①考慮した
②少し考慮した
③あまり考慮しなかった
④考慮しなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	1,733	42.5%	41.6%
②	1,024	25.1%	25.7%
③	724	17.8%	17.8%
④	596	14.6%	14.9%
無回答	30		
合計	4,107	100.0%	100.0%

3 中学校長対象

- 中学校として、詳しく知りたかった高校の情報は何か。
(あてはまる主なものを、最大3つまで選んでください。)

- ①入試方法や内容
- ②コース・類型の内容
- ③自分で組み立てられる単位制のカリキュラム
- ④専門学科の専門教育の内容
- ⑤教育活動上の工夫(教科・科目設置内容、習熟度別授業、少人数授業、大学や企業との連携等)
- ⑥国や県からの指定校(スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクール、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール等)
- ⑦学校行事
- ⑧進学や就職などの状況
- ⑨部活動
- ⑩資格取得
- ⑪卒業生の様々な分野での活躍
- ⑫地域の伝統文化の継承
- ⑬国際交流
- ⑭校風・学校の雰囲気
- ⑮制服
- ⑯通学の利便性

番号	人数	H28割合	H27割合
①	194	56.6%	59.1%
②	204	59.5%	55.9%
③	32	9.3%	6.1%
④	85	24.8%	16.5%
⑤	120	35.0%	29.6%
⑥	5	1.5%	2.6%
⑦	1	0.3%	0.6%
⑧	152	44.3%	46.1%
⑨	15	4.4%	5.5%
⑩	38	11.1%	7.5%
⑪	10	2.9%	4.1%
⑫	0	0.0%	0.0%
⑬	1	0.3%	0.3%
⑭	62	18.1%	18.8%
⑮	0	0.0%	0.0%
⑯	33	9.6%	16.5%
合計	952		

- 平成27年度において、複数志願選抜及び特色選抜に関する生徒への説明はどのような方法で実施しましたか。

- ①1年生を対象に全体会で説明した
- ②2年生を対象に全体会で説明した
- ③3年生を対象に全体会で説明した
- ④1年生を対象に個別面談で説明した
- ⑤2年生を対象に個別面談で説明した
- ⑥3年生を対象に個別面談で説明した

番号	人数	H28割合	H27割合
①	47	13.7%	14.2%
②	187	54.5%	57.7%
③	331	96.5%	97.7%
④	12	3.5%	4.1%
⑤	30	8.7%	10.1%
⑥	222	64.7%	64.6%
合計	829		

- 生徒の志願の動向に、通学区域の再編前と比べて変化がありましたか。

- ①変化があった
- ②少し変化があった
- ③あまり変化がなかった
- ④変化がなかった

番号	人数	H28割合	H27割合
①	51	14.9%	15.7%
②	143	41.7%	40.9%
③	129	37.6%	38.6%
④	20	5.8%	4.9%
合計	343	100.0%	

- 通学区域の再編に伴う入試事務等の変更で良かったと思われることは何か。
(複数回答可)

- ①入学者選抜要綱の公表の時期が早くなった
- ②入学願書等の様式が全学区で統一された
- ③入学考査料の納入方法が、現金から兵庫県収入証紙に変更された(市立高校を除く)
- ④出願方法を県外に加えて県内も郵送可とした
- ⑤総合学科の実技検査が教科ごとに同一校で実施され、公平性が高まった
- ⑥公益財団法人兵庫県高等学校教育振興会が実施する通学費の支援(貸与)の上限額が拡大された
- ⑦「幼児とふれあうプレ親事業・オープンハイスクールに関わる補償制度」ができた

番号	人数	H28割合	H27割合
①	159	46.4%	56.8%
②	273	79.6%	76.5%
③	148	43.1%	33.3%
④	173	50.4%	47.2%
⑤	28	8.2%	11.9%
⑥	31	9.0%	7.2%
⑦	22	6.4%	8.7%
合計	834		

平成 28 年度 通学区域の状況について【概要】

I 複数志願選抜の志願状況

[状況]

- 平成 28 年度の複数志願選抜においては、23,937 人が受検し 21,798 人が合格した。
- 旧学区外の高校を受検した生徒は 3,354 人(H27 年度 2,946 人)であり、複数志願選抜による受検者全体の 14.0%(H27 年度 12.3%)であった。
 - ◇第 1 学区 15.1% ◇第 2 学区 16.3% ◇第 3 学区 13.5%
 - ◇第 4 学区 10.4% ◇第 5 学区 4.1%
- 旧学区外の高校に合格した生徒は 2,825 人(H27 年度 2,513 人)であり、複数志願選抜による合格者全体の 13.0%(H27 年度 11.4%)であった。
 - ◇第 1 学区 13.7% ◇第 2 学区 15.0% ◇第 3 学区 13.0%
 - ◇第 4 学区 9.6% ◇第 5 学区 4.0%

[分析]

- 県下全体としては、旧学区外の高校を受検した生徒及び合格した生徒の割合が、わずかながら増加した。
- 受検者の志願状況には地域により若干の差はあるものの、学区ごとの受検者の流動状況は、H27 年度と比べて特に大きな変化はない。

II アンケートの分析

1 進路選択に対する生徒等の意識及び理解と中学校における進路指導

[状況]

- 高校の選択肢が増えたことに対して、「よかった」と感じた生徒は、H27 年度より約 10 ポイント増加(49.9%→60.0%)した。
- 高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒は約 78.3%(H27 年度 76.7%)であり、H27 年度と同程度であった。
- 高校の選択肢が増えたことで「どの高校を選ぶか悩む生徒が増えた」と感じた中学校長は、H27 年度より約 5 ポイント減少(65.8%→61.2%)した。
- 生徒が「高校の魅力・特色について関心を持つようになった」と感じた中学校長は、H27 年度より約 7 ポイント増加(53.0%→60.3%)した。
- 生徒が「自分の将来や生き方を考えたうえで進路選択をするようになった」と感じた中学校長は、H27 年度より 10 ポイント増加(22.9%→32.9%)した。
- 生徒に進路を考えさせるキャリア教育を充実させた中学校は、H27 年度より約 8 ポイント増加(17.7%→25.4%)した。
- 中学校、高校間の情報交換の機会が増えたと感じた中学校長は、50%を超えており、H27 年度と同様の傾向であるが、教員が直接学校を見に行くなど、教員同士の交流も増えつつある。
- 高校選択を決定する 3 年生の 12 月時点において、複数志願選抜の内容について、理解できていた生徒及び保護者の割合は、生徒は 97.7%(H27 年度 95.1%)で、保護者は 96.5%(H27 年度 95.6%)であり、ほぼ理解できている。

[分析]

- 生徒は、高校の魅力・特色を踏まえ、再編以前よりさらに主体的に高校選びをするようになっている。
- 中学校では、生徒が自分の生き方を考えた上で進路選択できるよう指導の充実に取り組むなど丁寧なキャリア教育を行っている。
- 中学生のみならず、保護者についても、複数志願選抜の内容に関する周知が進んでいる。

[今後の方向性]

- 中学校は、生徒及び保護者の進路希望を考慮しつつ、引き続きキャリア教育の充実に努める必要がある。
- 高校は、中学生、保護者及び中学校が求める魅力・特色に関する情報を、引き続き丁寧に提供していく必要がある。

2 生徒・保護者等の高校に関する情報に対する意識

[状況]

- ・生徒及び保護者が共通して求める高校の情報は、①入試方法や内容（生徒 43.9%、保護者 56.3%）、②校風・学校の雰囲気（生徒 22.7%、保護者 32.4%）、③進学や就職などの状況（生徒 22.4%、保護者 33.4%）、④コース・類型の内容（生徒 16.1%、保護者 25.1%）であり、H27 年度と同様の傾向である。
- ・高校の情報について、中学3年生の夏休みまでに知りたかった生徒は 70.8%、保護者は 92.4%であったのに対し、実際にその時期までに知った生徒は 52.7%、保護者は 69.4%と、H27 年度と同程度の差異があった。
- ・高等学校の説明会等に 1～3 回程度参加した保護者は 60.3%であり、そこで知りたかった情報として、「校風・学校の雰囲気 (48.5%)」、「進学や就職などの状況 (35.6%)」、「入試方法や内容 (32.2%)」等を挙げている。
- ・通学区域や入試の内容の情報の主な入手先は、生徒・保護者ともに「中学校の先生（生徒 74.6%→70.7%、保護者 73.8%→62.9%）」からであり、H27 年度と同様であるが、高校のオープン・ハイスクール、学校説明会等に参加して高校の情報を直接得ようとする傾向（25.0%→30.2%）も見られる。
- ・中学校において生徒や保護者に対して説明が難しかった項目は、「志願変更(58.0%)」、「合否判定(41.4%)」、「第1志望、第2志望の扱い(38.2%)」であり、H27 年度と同程度であった。
- ・H27 年度、説明が難しいと中学校長が感じていた「兵庫県収入証紙による入学考査料の納入(52.5%→32.4%)」、「旧学区外の高校(36.8%→24.8%)」の割合は減少した。

[分析]

- ・生徒・保護者が求める高校情報の内容に変化はないが、実際に情報を得た時期は、希望どおりとなっていない傾向がある。
- ・生徒・保護者は、主に中学校の先生から情報を得ているが、オープン・ハイスクール等に参加して、校風・学校の雰囲気等の情報を直接得ようとする傾向が見られる。
- ・兵庫県収入証紙による入学考査料の納入等、通学区域の再編に伴い変更した制度の内容については、周知が進みつつある。

[今後の方向性]

- ・中学校は、今後も引き続き、生徒や保護者の知りたい情報やその時期を考慮し、PTA総会や夏休みの三者面談等の活用など、可能な限り早い段階での説明に努めることが必要である。
- ・高校は、オープン・ハイスクール等において、生徒会が主体となった説明の時間や交流の時間を設けたり、中学生に授業や部活動等を見学させるなど、さらなる高校紹介の工夫が必要である。

3 入学後の高校生活について

[状況]

- ・生徒のうち、現在の高校生活について「充実している」「少し充実している」と回答した割合は 90.0%であった。
- ・「充実していない」と回答した生徒（10.0%）は、その要因として「友人・先輩との関係(45.7%)」、「授業(30.3%)」、「部活動(22.7%)」等を挙げている。
- ・保護者のうち、子どもが高校生活に「満足している」「少し満足している」と回答した割合は 93.0%と、H27 年度と同様であった。

[分析と今後の方向性]

- ・大多数の生徒は現在の高校生活が充実していると感じているが、H27 年度と同様、1 割程度の生徒は「充実していない」と感じていることから、高校において、これらの生徒の実態を的確に把握し、改善に努めることが必要である。

4 その他（中学校長から寄せられた主な意見）

- ・オープン・ハイスクール等に積極的に参加し、自分の目で高校を見ようとする生徒が増えた。
- ・生徒が自分の将来を考えて、多様な進路選択ができるようになった。
- ・高校の特徴などの情報を収集しようとする教員の意識が高まった。
- ・生徒が学習に向かうよう、教員が授業改善や補習の充実を図るようになった。
- ・3 年間を見通した系統立った進路指導の必要性を、教員が今まで以上に意識するようになった。
- ・通学区域の拡大に伴い、受検校が増えたため、出願の際の事務量が増加した。
- ・近くにある高校がさらに行きたい高校となるような魅力・特色づくりを継続してほしい。